

令和 2年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実績報告書

区市町村名 東京都青ヶ島

学校名 青ヶ島村 立 青ヶ島小中学校

1 事業目的 協議会名 青ヶ島小中学校校庭芝生化推進協議会

学校と地域が連携・協働した芝生の維持・管理及び活用等の仕組づくりを推進することを通して、子供の心身の成長・発達や地域の教育力向上を目指す。

2 主な取組と成果

学校と地域が連携して行う、年間を通した校庭緑化が定着してきたことで、青ヶ島村民の理解が進み、村民が学校に対してより協力的になったので、全村民の6割以上の参加のもと、村民による校庭播種を実施できた。事後アンケートでも、恒例行事となってきたことを喜ぶ声が聞かれた。

学校の部活の時間だけでなく、地域のサッカークラブの練習後にも、土壌整備や播種、除草の活動を定期的に行うようになり、地域と協働した活動をさらに進めることができた。

学校の児童・生徒に対しても、その日に行う作業の理由や目的をしっかりと説明したことで、目的意識をもって作業に取り組むことができ、作業日でなくとも芝に配慮が見られるようになった。また、補植のやり方を変えたことで、苗の定着率が向上した。

学校内では、芝生の担当者でなくとも、意欲的に作業に加わる職員の数が増え、校庭芝生化の作業スキルが向上している。

3 取組内容



「冬に向けてみんなで種まき！」

・令和2年9月20日(日)

・参加者60名

(うち小中学生児童生徒11名・学校教職員21名)

・運動会の閉会式後のイベントとして、参加者全員で冬芝の播種を実施。

「保護者や地域の住民による校庭整備」

・9月

・15名ほど

・校庭整備(補植・砂まき・種まき・砂ならし等)

(保護者+児童・生徒+地域の有志の方+学校職員)

※今年度は、新型コロナウイルス感染症への対策として、地域のサッカークラブチームの参加は見合わせていただいた。



「子供たちによる芝生づくりと補植・手入れ」

・通年

・30名(児童7名 生徒4名 教員19名)

・ポット苗・プランター苗を作り補植、エアレーション、草取り

・作業の理由などをしっかりと説明した上で、子供も目的意識をもって取り組む。

4 今後について

・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校の行事等が制限され、地域の方に来ていただくことがとても少なくなりました。また、例年校庭を利用している社会教育活動が全て自粛となってしまう、校庭の利用も激減した。

・中学校の部活動で利用することも減ってしまったので、放課後に小学生が遊ぶ場として意識的に開放している。

・昨年度、補植に必要なポット苗づくりの作業工程を見直し、本校に適合した有効な方法を見つけ出した。今年度も作業を継承し、順調であった。